

(別添)

留意事項

1. 研究活動は、各部局の管理体制による感染防止対策を徹底しつつ、続行できますが、人との接触を最小限にするため、研究室関係者は現場での滞在時間を減らし、可能な場合は自宅での活動を行ってください。
2. 授業は、原則オンラインにより実施します。
定期試験や学位論文審査等、対面での実施が必要な場合は、十分な感染防止対策を施した上で対面により実施できます。大学院入試等についても、実施部局の判断で、十分な感染対策を施した上で対面により実施できます。
3. 課外活動は、課外活動ガイドライン等に従って申請し、許可を得た場合に実施できます。
また、オンライン上で行われる活動と、屋外又は十分な感染防止対策が講じられた屋内施設での個人練習、少人数（5人程度）のグループ練習も実施できます。
4. 学内会議は、原則としてオンライン会議とし、対面は必要最小限とします。
5. 催事、イベントは、原則オンラインとします。対面での実施が不可欠と判断される場合には個別にご相談ください。
6. 感染拡大が顕著な地域への移動・往来については、延期、自粛することとし、出張は、業務上やむを得ない場合で、部局長の許可を得た場合のみとします。
7. 事務体制は、これまでと同様に感染拡大に最大限の配慮をしつつ、業務の性質に応じ、テレワークと時差出勤を推奨するとともに、リフレッシュ休暇等の取得も組み合わせながら業務遂行をお願いします。
8. ワクチン接種完了後の感染事例が報告されていますので、ワクチンの接種に関わらず、マスクの着用、換気、手洗いなどの基本的な感染対策をより丁寧に継続してください。
9. 室内の換気については、エアコン使用中もこまめな換気を行うなど特に留意をしてください。一般的なエアコンは、空気を循環させるだけで換気は行っていません。
10. 体調が悪いときは外出を控えてください。管理者は、体調不良となった場合だけでなく、体調不良の家族の面倒をみる場合などにおいても無理なく休めるよう、配慮してください。

その他、詳しくは各ガイドライン及び各通知によってください。